

バイオマス利活用連携群

平成17・18年度採択課題成果報告会

趣旨

バイオマス利活用事業を促進するには、バイオマスの生産、発生等から最終製品の消費、地域振興、環境・生態系保全、化石資源消費削減までを総合的に配慮した持続可能なバイオマス利活用システムを構築しなければならない。

このような背景に鑑み、科学技術連携施策群「バイオマス利活用連携群」では、地域に適合した持続可能なバイオマス利活用システムの設計・評価手法の開発を目指し、平成17年度にプロジェクト「バイオマス利活用システムの設計・評価手法」を採択し、さらに平成18年度には17年度採択事業と連携するプロジェクトとして「地域完結型地燃料システムの構築と運営」を開始した。我が国では「バイオマス・ニッポン総合戦略」の下、各地で「バイオマスタウン」などのバイオマス利活用の実証、実用化が進められ、地域でのバイオマス利活用が大きく推進されようとしている。

平成17年度採択事業が本年度で終了するにあたり、18年度採択事業の中間報告と合わせ、成果報告会を開催する。プロジェクトの成果を関係各位ならびに広く一般の方々に知っていただき、今後のバイオマス利活用のあり方について大いに議論を深めたい。

主催: 内閣府

共催: 文部科学省、総務省(消防庁)、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、

協賛: 予定機関:(社)日本エネルギー学会、(社)化学工学会、エネルギー・資源学会、廃棄物学会、NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク、豊橋技術科学大学、東京大学

日時: 平成20年2月19日(火) 13:00~17:00 (受付開始12:30)

場所: 東京(東大弥生講堂) <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>

聴講: 無料(先着順)を希望される場合は、下記、聴講申し込み方法にしたがって、事前にお申し込み下さい。

聴講申し込み方法 : 下記Webをお願いします。
独立行政法人科学技術振興機構 科学技術連携施策群支援業務室
バイオマス利活用担当 課題成果報告会係
電話 03-3595-6201
<http://www.renkei.jst.go.jp/sympo/biomass02/index.html>

プログラム

13:00 開会
13:00 ~ 13:05 開会の挨拶

13:05 ~ 13:15 「科学技術連携施策群(バイオマス利活用連携群)」
内閣府政策統括官(科学技術政策担当)付 参事官(環境・エネルギー担当)青木康展

【バイオマス利活用システムの設計・評価手法】

責任機関：豊橋技術科学大学、研究代表者：藤江 幸一

13:15 ~ 13:25 課題の概要について 豊橋技術科学大学 藤江 幸一

(1) システム構造および海外プラントーションの設計評価システムに関する研究

13:25 ~ 13:55 システムの基本構造と評価軸・評価関数の策定に関する研究 豊橋技術科学大学

13:55 ~ 14:10 熱帯アジアプラントーションの解析に基づく循環モデルの開発
(独)国際農林水産業研究センター

(2) 国内バイオマスタウンの設計・評価システムに関する研究

14:10 ~ 14:40 要素モデル群の開発と統合システムの構築に関する研究 東京大学

14:40 ~ 14:55 農林業物質循環システムの研究
(独)農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所

14:55 ~ 15:10 閉鎖性自立循環システムの研究 鹿児島大学

15:10 ~ 15:25
(3) バイオマス事業の経済性の評価法に関する研究 株)循環社会ビジネス研究所

15:25 ~ 15:40 休憩

【地域完結型地燃料システムの構築と運営】(中間報告)

責任機関：東京大学、研究代表者：五十嵐 泰夫

15:40 ~ 15:55 課題の概要について 東京大学 五十嵐泰夫

15:55 ~ 16:10 スロー糖化・発酵技術の開発 東京大学農学部

16:10 ~ 16:25 地域小規模生産型エタノール生産プロセスの構築 東京大学工学部

16:25 ~ 16:40 地域完結型地燃料システムの設計・構築・運営に関する研究 (株)総合環境研究所

16:40 ~ 16:55 地域の具体的バイオマス利活用事業システムに関する持続可能性の評価 山梨大学

16:55 ~ 17:00 閉会の挨拶

17:00 閉会